

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

唾液腺腫瘍中心部の低酸素領域における筋上皮細胞の細胞生物学的解析

1. 研究の対象および研究対象期間

研究の対象の方：昭和大学病院頭頸部腫瘍センターで唾液腺上皮性腫瘍のため入院し、腫瘍を摘出/切除した患者さん（10症例）

研究の対象期間：2018年10月から2022年3月まで

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、人の唾液腺由来腫瘍組織を使用して、その組織の中央部分の低酸素下における筋上皮細胞の増殖分化能および細胞死（ネクローシス・アポトーシス・オートファジー等）の発現様式を検索し、その主要中心部における筋上皮細胞の病態を明らかにすることです。

2018年10月から2022年3月までの期間に昭和大学病院頭頸部腫瘍センターに入院され、摘出/切除した唾液腺上皮性腫瘍10症例の検体を対象として免疫組織学的検討を行います。具体的には、パラフィン包埋にて保存された余剰検体を部位別（耳下腺、顎下腺、舌下腺、口蓋、口唇）疾患別（Pleomorphic adenoma、Warthin tumor、Adenoma）に分類し、通法に従って、パラフィンブロック薄切、組織標本作製し、HE染色と共にHIFと α -SMAの免疫染色を行い、それぞれのタンパク質の発現様式を部位別、疾患別に検討します。併せて対象の患者さんの診療録から、以下項目3に記載する情報を使用します。

実施場所：昭和大学歯学部口腔外科学講座医局（昭和大学歯科病院2号棟2階）

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日までです。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

2018年10月～2022年3月までに昭和大学病院頭頸部腫瘍センターに入院、摘出/切除した唾液腺上皮性良性腫瘍10症例のパラフィン包埋にて保存された余剰検体、及びその対象患者さんの診療録から以下の情報を入手します。

- ・患者背景（年齢、性別、診断病名、既往歴、現病歴）

